



コミュニティ・スクールたより 令和7年2月発行

# CSたより

14号

コミュニティ・スクール

少し遅れましたが「皆様、新年 おめでとうございます」。昨年は、たくさんの方々に、子供たちの学びに関わっていただきました。知識はもとより、物事の見方、考え方にも寄与していただきました。ありがとうございました。

さて、今年、巳（み）年です。「巳（み）」という字は胎児の形を表した象形文字で、子宮が胎児を包む様子が由来とされています。また、巳（へビ）が冬眠から目覚め地上にはい出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があるとも言われています。

このことから巳年は、力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年とされてきました。また、巳（み）と実（み）を掛けて「実を結ぶ」年と言われたりもしています。そこで、これらの由来にあやかり、今年も、子供たちの健やかな育ちを図っていきたくと考えます。

## 「経済産業大臣賞」を受賞

ICT教育を推進する全国ICT教育首長協議会の「第7回日本ICT教育アワード」で、朝日町が経済産業大臣賞に選ばれました。1月17日、東京都立産業貿易センターにおいて、受賞自治体による「全国ICT教育首長サミット」や全国の先進的ICT教育の実践発表、表彰式が行われました。



さみさと小学校と朝日中学校は、令和5年度に文部科学省「リーディングDXスクール事業」の指定校に、令和6年度は、「生成AIパイロット校」にも指定されました（あさひ野小学校は協力校）。

初年度はICTを活用した授業改善と業務改善の一体的推進について情報発信し、全国への横展開を図りました。今年度は児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、朝日町とつくば市、富山大学、大手通信会社の「産・官・学」が連携し、授業での生成AIの有効活用に焦点を当てて研究を進めました。中学校の外国語科における「聞くこと・話すこと」の領域に着目し、学習端末内のバーチャルロボットを用い、生徒は自分の目的に合った使い方で英会話を繰り返し練習しました。授業後のアンケートでは7割以上の生徒が「必要な情報を聞き取ること」「即興で話すこと」ができるようになったとの回答がありました。

このような小中学校でのICT教育の取組が評価されての受賞であります。

## 第2回学校運営協議会

昨年の12月19日（木）に、朝日中学校で第2回学校運営協議会が開かれました。その概略をお伝えいたします。



### 〈報告〉

#### 1 地域学校協働活動について

- ふるさと学習支援部会 2学期末までの間、「ふるさと科」等の授業のため、協働本部が地域指導者と連絡調整をした件数は49件。
- 登下校安全支援部会 7月17日に学校、警察、国県町の道路管理者、交通安全協会、地区等が集まり、要望があった通学路危険箇所の点検を実施。10月18日に通学路安全推進会議が開催され、通学路の危険箇所対策の方向性や見通しを確認。
- 放課後支援部会 教員OB4名、大学生3名の学習サポーターが、中学校2・3年生の希望者54名を対象に放課後学習サポート事業を実施。
- 学校部活動支援部会 朝日町型部活動コミュニティクラブ（10クラブ）を実施。

#### 2 夏休み小学校プール開放に関するアンケート結果について

- ・10日間の開放日数について 「ちょうどよい」 さみさと小学校58%、あさひ野小学校49%  
「少ない」 さみさと小学校39%、あさひ野小学校46%
  - ・午前中2時間の開放時間について 「ちょうどよい」 さみさと小学校88%、あさひ野小学校81%
- 自由記述の意見要望等については、「子供が楽しみにしていた」「開放期間を延長してほしい」「監視員の暑さ対策をしてほしい」等の意見がありました。



#### 3 学校運営状況について

各校が年度当初にたてた「令和6年度の学校運営の方針」に沿って、2学期までの成果と課題が報告されました。

### 〈協議〉

#### 1 今後の朝日町型部活動コミュニティクラブについて

部活動改革推進期間（令和5年度から令和7年度）から、学校・地域・行政も一体的に全体で活動を支えていくという地域展開（令和8年度以降）への国の方針案に基づく町における中学校部活動と地域クラブの今後のあり方に対する考え方について報告がありました。

- 【意見】・持続可能とするには指導者の確保と受益者の負担が課題と思われる。また、少子化で団体競技が難しく、近隣市町村などとの広域的な取組も必要だと思う。
- ・将来的には、コミュニティクラブによって地域全体で従来の部活動を支えるという方向性は大事。保護者負担等の課題はあると考えられる。

#### 2 中学校 学校行事・部活動編成について

学校行事については、今まで実施してきた行事のねらいを考慮し、実施学年の変更や新たな行事について説明があり、承認されました。

部活動編成については、現在203名の学校で11の部活動運営は厳しく、令和7年度からの部活動再編に向け動いていることの説明がありました。



今回は、第3回学校運営協議会の内容をお伝えいたします。

地域学校協働本部（朝日町教育センター内） 山崎  
電話：090-7180-9179  
FAX：(0765)83-0279  
Email：asahi.chiikigakkoukyoudouhonbu@gmail.com